



東日本大震災で多くの亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。

最新マンスリーecoニュース&トピックス  
・最近のニュース

がれきを発電に有効活用 林野庁、1次補正に3億円計上  
へ2011.4.19/産経新聞

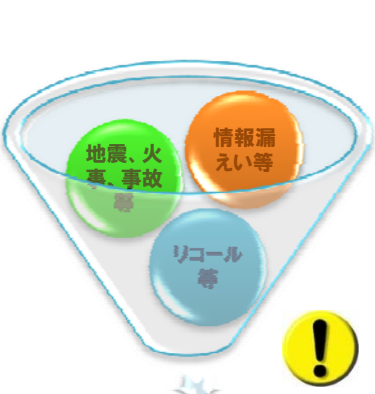
林野庁は19日、東日本大震災の被災地にある大量のがれきをバイオマス(生物資源)発電などで有効活用する事業を実施する方針を固めた。2011年度第1次補正予算に3億円程度を盛り込む方向で調整している。政府の推定によると、がれきは家屋によるものだけで2500万トンあり、その約8割が木材とみられている。木材をバイオマス発電に使うには、5cm以下の木くずにする必要がある。バイオマス発電所は全国に100カ所程度あり、民間企業が運営。木くず10万トンで年間1万キロワットの発電が可能とされる。福島第1原子力発電の事故で今夏の電力不足が懸念される中、バイオマスの発電能力を向上させて対応する狙いもある。

環境法改正情報

■「廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部を改正する法律」施行2011.4.1

廃棄物を排出する事業者による適正な処理を確保するための対策強化を狙い、1.排出事業者が産業廃棄物を事業上外に保管する場合の届出、2.事業者による処理の状況に関する確認の努力義務の明確化、3.産業廃棄物管理票制度の強化、4.産業廃棄物処理業者による委託者への通知、5.建設工事に伴い生ずる廃棄物の処理に関する例外などが施行された。

Ecobiz/ecolife エコビズ/エコライフ いまさら聞けない? 教えて! 「リスク管理」 Series.1



「危機管理」と「リスク管理」の違い

震災における原発事故の影響や大手企業の個人情報漏えい事故等、「危機管理」や「リスク管理」が問われる事件が多い中、2009年度個人情報漏えい事故は1539件起こっている。2008年から166件増加し、過去最高となった。日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)の発表によると想定損害賠償額は、3890億4289万円。個人情報漏洩事故等は、企業経営にとってイメージダウンだけに留まらず社会的信用失墜は計り知れない程の企業損失を及ぼす可能性がある。では、「危機」と「リスク」は何が違うのか。「危機」というのは、既に発生した事態を指している。これに対して、「リスク」は未だ発生していない危険を指す。つまり、「危機管理」というのは、既に起きた事故や事件に対して、そこから受けるダメージをなるべく減らそうという発想であり、「リスク管理」は、これから起きるかもしれない危険に対して、事前に対応しておこうという行動である。企業が事件・事故に対し、事業を継続する為の手段としてリスク管理をすることが求められている。次号は、「リスク管理」における具体例をお届けしたい。

企業が受ける損失は、  
予測不能

組織のリスクの源泉を捉え、  
「不確実性(潜在的損失)」に  
対応し管理することが必要

営業に役立つ  
環境用語と豆知識 【インシデント】

事件、出来事、ハプニングなどの意味を持つ英単語。日本では、重大事故に至る可能性がある事態が発生し、なおかつ実際には事故につながらなかった潜在的事例のことをさす。又、医療や航空等の分野でも、事故に至らない「ひやっとした事例」といったニュアンスの用語として使われている。

走れ!エコ  
エコ エイトマン Try for tomorrow  
「明日の地球の為に、  
今できること」

お客様のために常にお役に立ちたい...。そんな思いを大切にエイトマンを毎号ご紹介しします。

営業部  
宮本 佳和 氏

営業部の宮本です。

前職はアウトドアスポーツ関連の仕事をしていました。入社2年目ですが、環境に携わる仕事をしているという自負と責任を感じながら日々努力しております。廃棄物業界のプロとしてお客様のお役に立てよう頑張ります。

罰則と判例(※罰則と判例は震災に伴う記事掲載の為、内容に相違がありますがご了承下さい)

福島第1原発 がれき処理理由に 汚染懸念、一般業者扱えず 2011.4.14/毎日新聞  
東日本大震災による東京電力福島第1原発の事故で、原発周辺では、未だに津波によるがれきが大量に放置されており、放射性物質による汚染が懸念されている。地震や津波で発生したがれきは「災害廃棄物」と呼ばれ、通常は廃棄物処理法に基づいて市町村が処理するが、東日本大震災ではあまりに膨大な為、国が費用を全額負担する方針。環境省の推計では、震災で発生した福島県内のがれきの量は、建物のみで290万トン。